

ギンナンの栽培・防除暦（令和7年版）

鹿児島県園芸振興協議会始良支部（果樹部門）

月	旬	生育相	管理作業	対象病害虫	基幹防除		100g 当たり 薬量	補完防除及び注意事項	散布日・散布量 記入欄 (基幹防除)
					FRACコード(殺菌剤)	IRACコード(殺虫剤)			
1	上 中 下	休眠期	整枝・せん定 クスサン卵塊の捕殺	クスサン	耕種的防除			※主幹や主枝の分岐点付近にあるクスサンの卵塊を捕殺する	
2	上 中 下								
3	上 中 下		春肥施用						
4	上 中 下	発芽期 開花期	台芽かき取り 除草 ※人工受粉	コウモリガ	除草を徹底する			※(粗花粉2,000倍液で人工授粉) コウモリガは下草を食害した後イチョウに移動するため、除草を徹底する	
5	上 中 下	生理落果期 果実肥大期	除草 摘果 ※らせん剥皮					※5月下旬～7月上旬にらせん剥皮する。 ※直径8cm以上の主幹・主枝を1cm幅で1.5周程度らせん状に剥皮し、トップジンMペーストを塗布する	
6	上 中 下		夏肥施用 新梢伸長停止期	コウモリガ	スミチオン乳剤 (収穫60日前まで)	1B 100倍	10cc	※0.3～3 リットル/樹 (樹幹散布)	月 日 リットル
7	上 中 下	↑ 硬核期 ↓							
8	上 中 下	↑	早期収穫					※高圧洗浄剥皮機を活用して早期収穫出荷を行う	
9	上 中 下	↓ 収穫期	収穫・調整					※完熟果を収穫する ※果肉を取り除くために2～3日水に浸す	
10	上 中 下	↓	収穫・調整 秋肥施用						
11	上 中 下	落葉期	堆肥施用					・牛ふん堆肥を10a当たり2t施用する ・酸度矯正が必要な場合は苦土石灰を施用する	
12	上 中 下	休眠期	整枝・せん定	切り口及び傷口のゆ合促進	トップジンMペースト	1 原液塗		・樹冠内部に日光が当たるように内向枝や交差枝、下垂枝を除去する ・直径3cm以上の切り口に塗布する	月 日 リットル

注) 令和6年12月11日現在の登録内容を掲載したものです。

【農薬一覧】

農薬名	系統名	成分名	使用時期	方法	農薬使用回数(成分)	毒性	適用病害虫名
スミチオン乳剤	有機リン系殺虫剤	MEP	収穫60日前まで	樹幹散布	3回以内(3回以内)	普	コウモリガ
トップジンMペースト	ベンゾイミダゾール系殺菌剤	チオファネートメチル	剪定整枝時、病患部削り取り直後、及び病枝切除後	塗布	3回以内(3回以内)	普	切り口及び傷口のゆ合促進

【施肥基準例】

(10a当たり)

時期	窒素施肥量	現地での基準例
春肥(3月上旬)	2.5kg	森林肥料 12.5kg
夏肥(6月上旬)	2.5kg	森林肥料 12.5kg
秋肥(10月下旬)	6.0kg	森林肥料 30.0kg
有機物の投入(11月下旬～12月上旬)		完熟牛ふん堆肥 2t

※ 森林肥料421号(N:20%, P:10%, K:10%)

農薬登録内容が変更されている場合があるので、農薬使用前に表示ラベルを熟読してください！

◎農薬の安全使用基準を遵守するとともに、生産履歴の記帳を行いましょう！

◎農薬散布時は飛散防止に努めましょう！